

〈報道関係者各位〉

2026年4月27日
医療法人横浜博萌会

『人生会議ノート』改訂版を作成 より「書きやすく」「伝えやすい」内容へ刷新 ～日常の中で自然に人生会議が行われることを目指して～

医療法人横浜博萌会(神奈川県横浜市戸塚区、理事長:三瓶建二)は、このたび「人生会議ノート(改訂版)」を作成し、2026年4月下旬より配布を開始いたします。

当法人ではこれまで、人生の最終段階における医療やケアについて本人の意思を尊重する取り組みとして、「人生会議ノート」を活用してまいりました。初版作成から2年が経過し、累計8,800部を配布する中で、院内スタッフより「冒頭から最期を想起させる設問に心理的抵抗がある」「設問内容に重複がある」「記載者にとって書きづらく、医療者にとっても聞きづらい」といった意見が寄せられました。これらの課題を踏まえ、より多くの方が自然に活用できる内容へと見直し、今回の改訂に至りました。

改訂にあたっては、まず記載への心理的な負担を軽減することに重点を置きました。表紙の構成は従来のACP¹解説中心の内容から、ノートの趣旨や使用方法を伝えるものへと変更し、初めて手に取る方でも抵抗なく使い始められるよう工夫しています。また設問の流れについても見直しを行い、「健康なとき」から「病気になったとき」「告知を受けたとき」と段階的に考えを深めていく構成とすることで、自然な形で人生の最終段階まで想起できるようにしました。さらに、各設問における選択理由の記載については任意であることを明確にし、書き手の負担軽減にも配慮しています。

加えて、意思の変化を可視化するために新たに「記載日」欄を設け、時間の経過とともに変わりうる考えを振り返ることができるようにしました。延命に関する設問についても、「心肺蘇生」などの医療行為を前面に出した表現から、「口から食べられなくなったとき」といった生活の場面をイメージしやすい表現へと見直しています。さらに、記載内容を家族や医療者と共有するきっかけとなるよう、話し合いを行いやすいタイミングの例も盛り込みました。

本改訂は、医師・看護師・MSW・薬剤師・作業療法士・ケアマネジャーによる多職種チームで検討を重ね、利用者の声をもとに「書きやすさ」と「対話につながること」を重視して作成されました。本ノートは単なる記録ではなく、信頼できる人との対話を通じて意思を伝えるためのツールであり、療養の場が変化しても、その人らしさが尊重され続けることを目指しています。また、医療者へ思いを伝えづらい患者の意思を代弁する役割も期待されています。今後は運用手順の整備や医療者向けの学習機会の充実を図り、人生会議(ACP)が特別なものではなく、日常の中で自然に行われる文化として定着することを目指してまいります。

¹ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)は、将来の医療・ケアに関する意思決定に備え、本人の価値観や意向をもとに、家族や医療・介護従事者と継続的に話し合い共有するプロセスを指します。

【コメント】西横浜国際総合病院 院長の三瓶建二は、「医師として多くの患者さんを看取る中で、最期の場面においてご本人の意思を確認できないケースを数多く経験してきました。そのような状況では、ご本人やご家族、医療者が『これでよかったのか』と迷いや葛藤を抱えることも少なくありません。人生会議は、もしものための準備ではなく、『どのように生きたいか』を考える大切な機会です。今回の改訂版は、より日常の延長として自然に取り組める内容となっています。まずはノートに触れ、自分自身と向き合い、その思いを大切な人と共有していただければと思います」とコメントしています。

また、本改訂に関わった医師の大久保健彦は、「これまでのノートは重要性が理解されていても、実際に書き始めることのハードルが高いという声がありました。今回の改訂では、日常の延長で自然に考え、記入できる構成へと見直しています。このノートは一度書いて終わりではなく、その時々の方々の気持ちの変化を重ねていくものです。ご本人の意思が可視化されることで、医療者にとってもその方らしい医療・ケアを考える大きな手がかりとなります」と述べています。

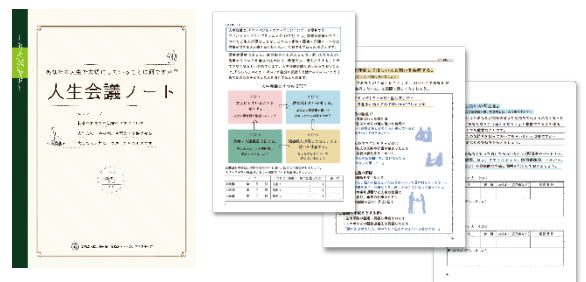
本ノートは、当院患者およびご家族、地域住民ならびに関係者を対象に、2026年4月下旬より配布を開始いたします。本ノートが、一人ひとりが自分らしい生き方について考え、その思いを周囲と共有するきっかけとなることを期待しています。

【資料】

■ 人生会議ノート ver.2 (2026年3月改訂版)

(B5 中綴じ 12 ページ)

将来の治療やケアについて「今の想いや考え」を書き残し大切な人と共有しておくためのノートです。



■ WEB サイト特設ページ

西横浜国際総合病院ホームページ内にて、人生会議の概要やダウンロード可能資料、当法人の指針を公開しているほか、大久保健彦医師が実際に記入した人生会議ノートを紹介しています。

URL:<https://www.nishiyokohama.or.jp/aboutacp/>

医療法人横浜博萌会 西横浜メディカルケアグループについて

医療法人横浜博萌会は、セコム医療システム株式会社の提携医療機関として、西横浜国際総合病院を中心に、にしよこ整形外科クリニック、にしよこ在宅クリニック、訪問看護ステーションにしよこはま、介護サービス事業所ケアプランセンターにしよこはま等を展開しています。安心・安全の医療・介護を提供することを理念に掲げ、「生命と人権の尊重」「良質な医療、介護の提供」「地域医療、介護への幅広い貢献」に努めるとともに、予防・急性期医療から回復期・在宅医療の分野まで網羅し、信頼のおける医療グループを目指しています。

取材に関するお問い合わせ

医療法人横浜博萌会 西横浜国際総合病院 広報・マーケティング室 (担当:外岡・砂川)

Tel. 045-871-8855 Fax. 045-862-0673

Mail. s-sotooka@nishiyokohama.or.jp